定例記者会見　令和６年１２月９日（月）１１時～	
場　所　庁議室	
事　務　担　当　課	
所　　属	職・氏　名
建設部建設整備課 （電話０５９－２２９－３３１１）	建設整備課長 水谷　誠

安心で安全なアクセス道路が完成
１２月２８日　大谷踏切開通！

このことについて、その内容は、別添資料のとおりです。

安心で安全なアクセス道路が完成

１２月２８日　大谷踏切開通！

令和６年１２月９日

平成２７年以前の踏切の状況

JR・伊勢鉄道

JR・伊勢鉄軌道部
幅員 約2．5m

乗用車１台しか通行できず
乗用車と歩行者が錯綜

近鉄架道橋下

近鉄架道橋下
幅員 約5．0m・高さ制限 2．4m

高さ制限で救急車が通行不可

平成２７年JR名松線上井生踏切（一志町井生地内）廃止の地元同意を得る

大谷踏切拡幅の必要性と効果

国道23号 ⇔ 県道津関線

市道栄町広明町第１号線が
唯一の対面２車線道路

津駅周辺の慢性的な渋滞

市道上浜町大谷町第１号線大谷踏切

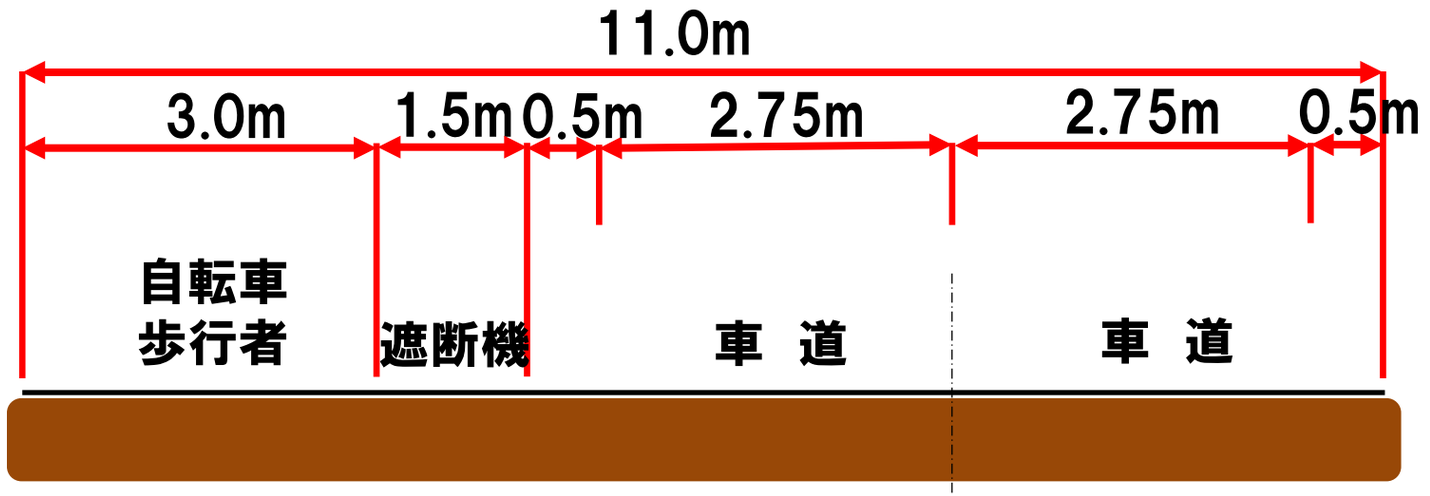
【現況】	【計画】
１車線 相互通行	・自歩道整備 ・２車線道路
交通量※ 5,427台/日	計画交通量 8,900台/日

※平成28年度調査

- 鉄道により分断された東西路線のアクセス向上
- 渋滞の緩和
- 歩行者・自転車の安全確保

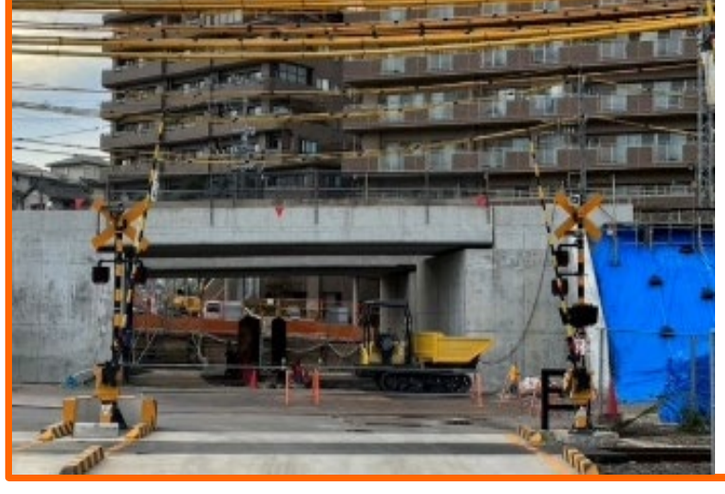
上浜町大谷町第１号線の計画断面

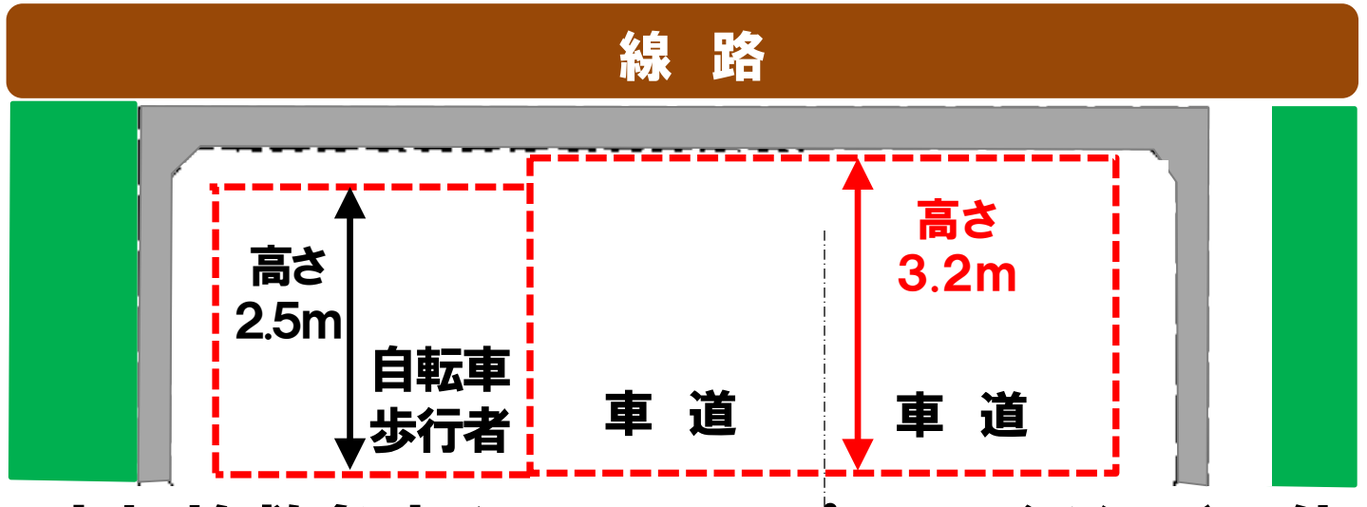
JR・伊勢鉄道



歩車道を分離、歩車道の幅員を確保

近鉄架道橋下





高規格救急車やノンステップバスの通行が可能

予算確保の取り組み

平成29年1月　国土交通省から踏切道改良促進法の「改良すべき踏切」に法指定
平成29年4月　国の防災・安全交付金「重点配分」を活用し事業を推進
平成31年4月　国の防災・安全交付金「特に重点配分を行う事業」に格上げ

課　題　鉄道工事の事業費が大きいため、集中的に安定した予算確保が必要

個別補助制度の創設を国に要望【令和元年度・令和2年度　市長から要望】

令和2年12月　令和3年度予算から「踏切道改良計画事業補助制度」の創設が決定
令和3年　1月　国土交通大臣現場視察

令和3年度　踏切道改良計画事業補助
全国85箇所のうちの1つとして事業採択され三重県初

計画的な予算の確保が見込まれることで、事業の推進が加速化

事業費及びこれまでの整備スケジュール

■ 事業費

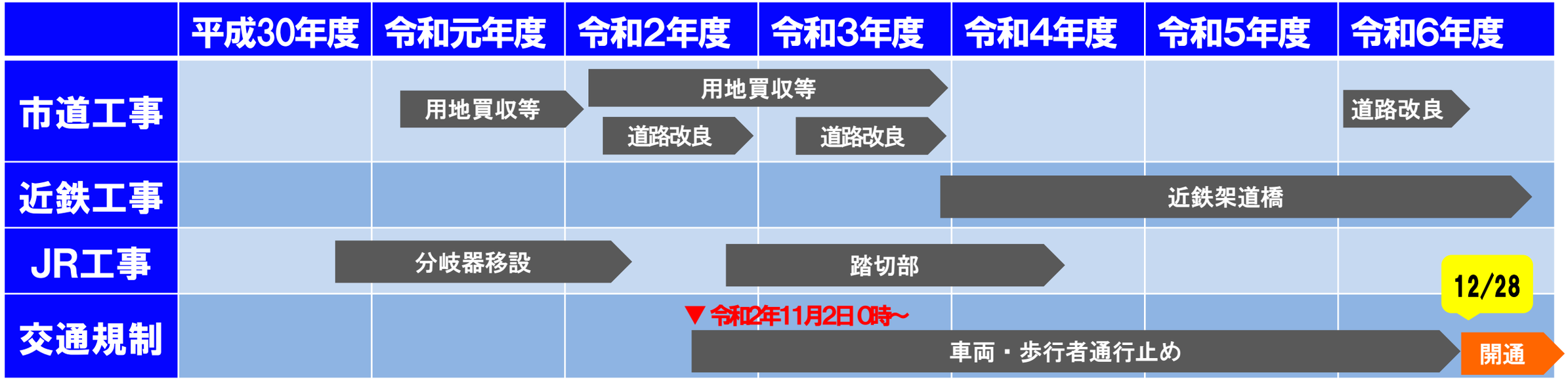
単位：百万円

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
事業費	25	81	62	56	227	299	255	497	565	1,371	3,439
うち国補助	-	-	6	26	119	130	126	271	308	746	1,732

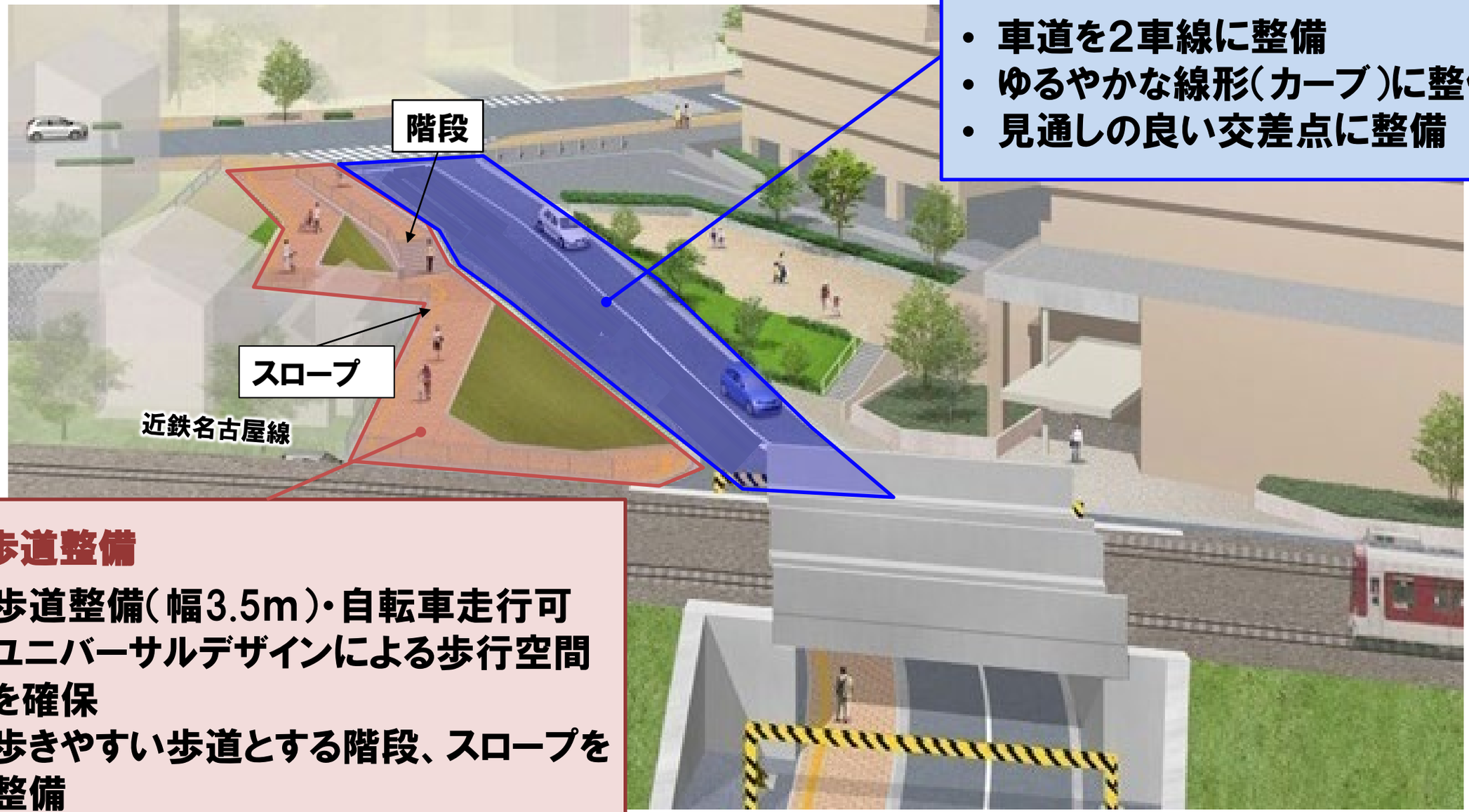
当初事業費　25億円　▶　変更事業費　34億円（9億円増）

主な増額理由	物価労賃等の変動、仮設工法の見直し、工事内容の変更

■ これまでの整備スケジュール



県道津関線～近鉄架道橋 市道道路改良工事の概要



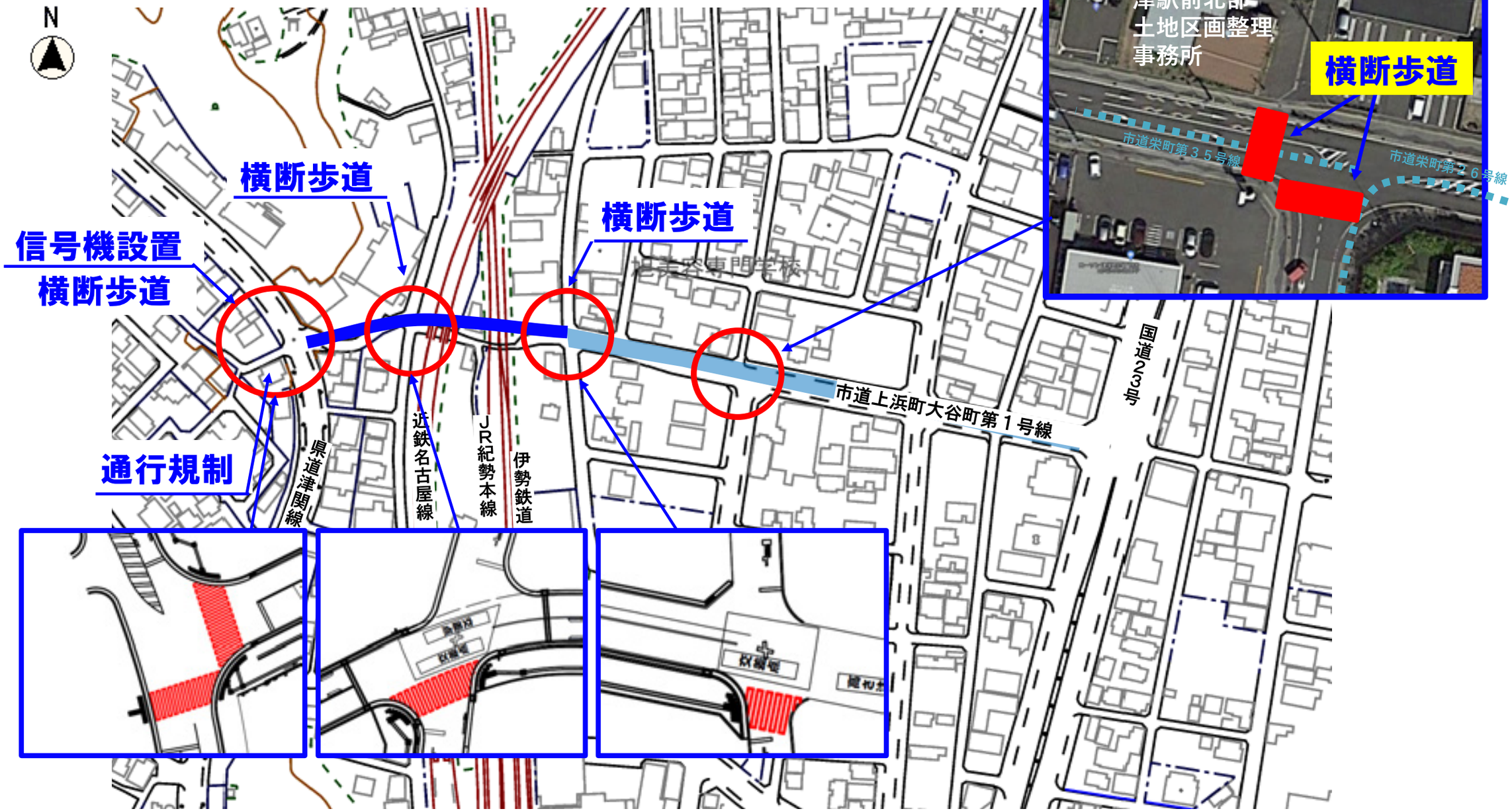
車道部

- 車道を2車線に整備
- ゆるやかな線形(カーブ)に整備
- 見通しの良い交差点に整備

自歩道整備

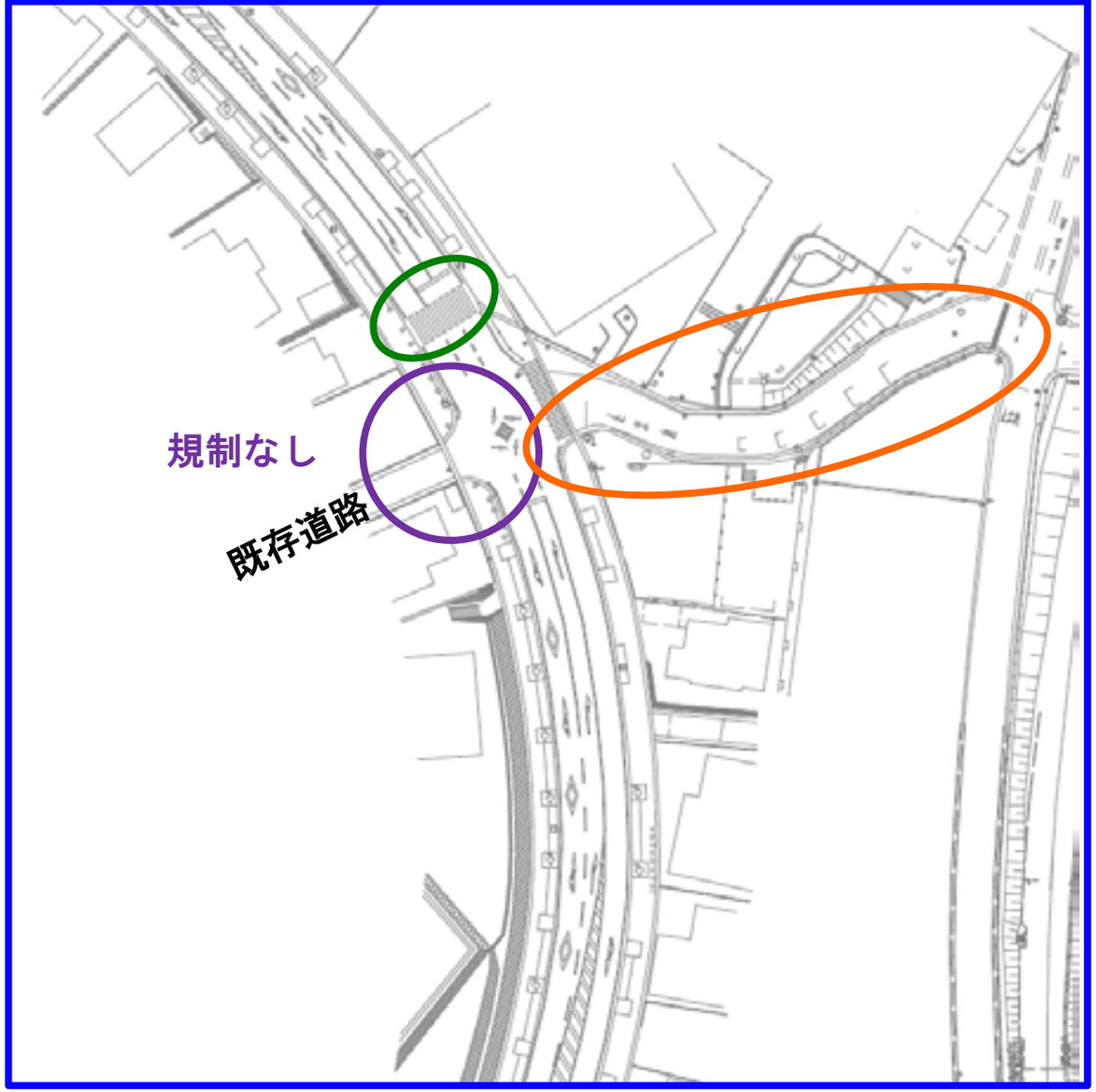
- 歩道整備(幅3.5m)・自転車走行可
- ユニバーサルデザインによる歩行空間を確保
- 歩きやすい歩道とする階段、スロープを整備

交通安全対策　三重県警察の取り組み

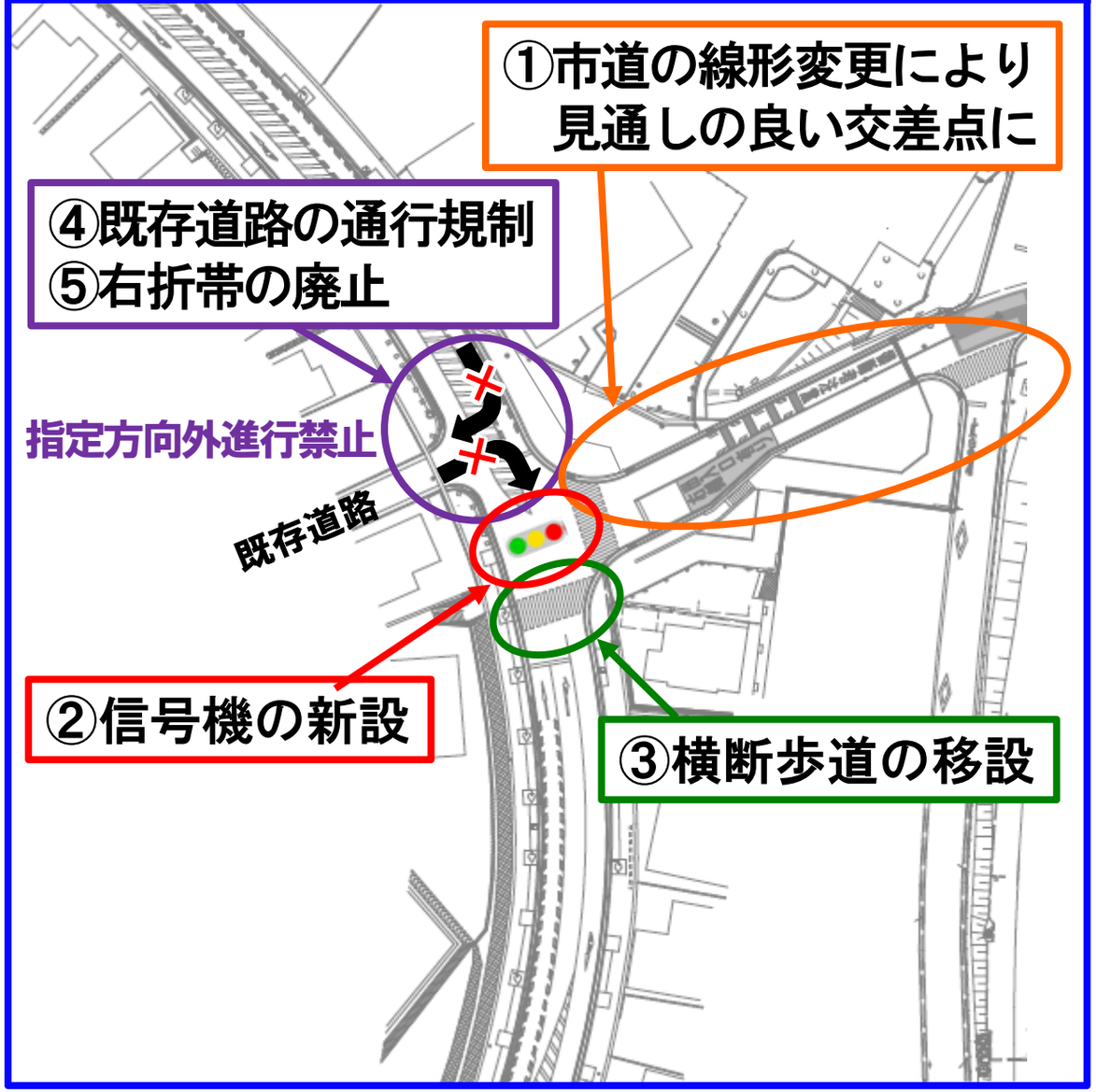


交通安全対策　県道津関線交差点の改良

改良前

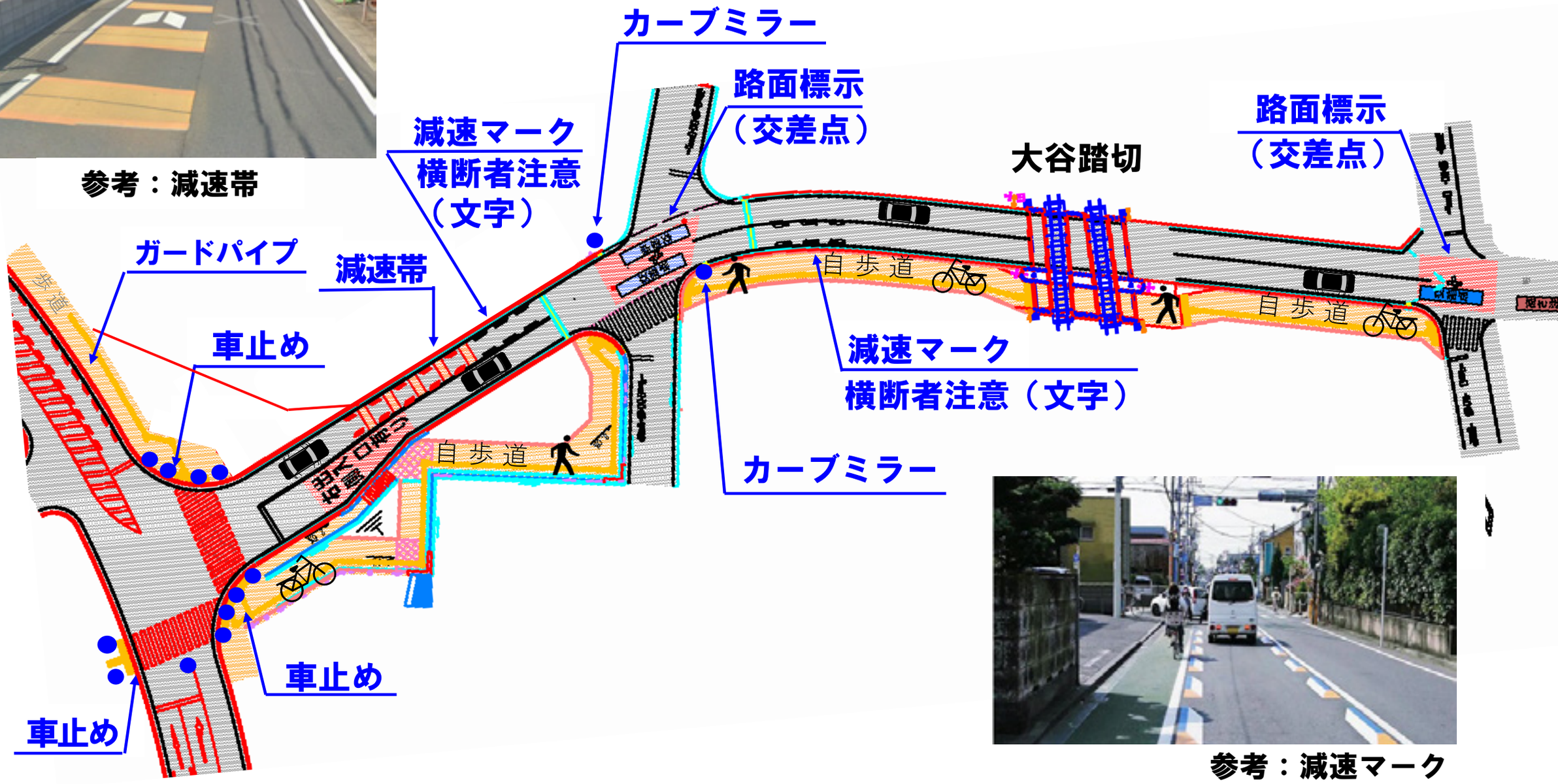


改良後



交通安全対策　津市の取り組み

参考：減速帯



参考：減速マーク

令和6年12月28日9時　供用開始！

問い合わせ

建設部建設整備課
〒514-8611　津市西丸之内23番1号
TEL　:059-229-3311
FAX　:059-229-3345
E-Mail:229-3195@city.tsu.lg.jp

定例記者会見　令和６年１２月９日（月）１１時～	
場　所　庁議室	
事　務　担　当　課	
所　　属	職・氏　名
都市計画部交通政策課 （電話０５９－２２９－３２８９）	交通政策課長 荒木　康

令和６年１２月２７日（金）より運行開始
津なぎさまち⇔津駅間
シャトルバスを実証運行します

このことについて、その内容は、別添資料のとおりです。

令和6年12月27日（金）より運行開始

津なぎさまち ⇔ 津駅間
シャトルバスを実証運行します

令和6年12月9日

高速船と接続する路線バスの現状

※平成31年4月1日時点

高 速 船	津なぎさまち発　午前6時から午後9時まで、毎時1便が運航	15往復30便
路線バス	早朝や夜遅い便を除き、高速船の発着ダイヤに合わせて運行	津駅発：12便 津なぎさまち発：11便

コロナ禍

※令和4年4月1日時点

高 速 船	出張や旅行などの利用者の激減等により減便	4 往 復 8 便
路線バス	高速船の減便に合わせて減便	津駅発：　4便 津なぎさまち発：　4便

コロナ収束

市から両事業者に対して増便の要請・要望

両事業者による増便の検討

※令和6年4月1日時点

高 速 船	中部国際空港発着便の増加に合わせて、徐々に高速船を増便	11往復22便
路線バス	運転手不足等の理由により、早急な対応が困難	津駅発：　7便 津なぎさまち発：　6便

高速船・路線バスの現状を踏まえて

高速船の発着に対して路線バスの接続が約半数である現状

中部国際空港から三重県、津市への観光客やビジネス客の増加に繋がらない

これらを踏まえ

令和6年10月9日	海上アクセス利用促進調整会議（国土交通省中部運輸局、三重県、津市、松阪市、交通事業者などで構成）において議論

会議での意見

高速船の発着に合わせた移動手段の充実が必要

路線バスの増便は運転手不足等の理由により困難

実証運行の実施に至った経緯

津エアポートライン㈱

津エアポートライン㈱が空港アクセス港と津駅間において
路線バスが接続していない時間帯を補完する
シャトルバスの実証運行を計画

令和6年11月14日

中部国際空港利用促進協議会（愛知県、岐阜県、三重県及び名古屋市並びに一般社団法人中部経済連合会をはじめとする関係企業、団体によって構成）の「空港アクセス拡大支援事業」として事業採択

津エアポートライン㈱が同協議会の財源を活用し、実証運行実施を決定

事業費 約120万円（うち協議会補助金　100万円）
※残額については津エアポートライン㈱が負担

シャトルバス実証運行の内容

津エアポートライン㈱

期間	令和6年12月27日（金）～令和7年2月24日（月）
運行区間	空港アクセス港 ⇔ 三重会館 ⇔ 津駅
乗降場所	津なぎさまち 空港アクセス港 ホテル津センターパレス ホテルグリーンパーク津
運賃	無料
対象者・定員	高速船利用者・6名まで
利用方法	電話予約（9時から18時まで。予約者優先） 予約先：津エアポートライン㈱　TEL：059－213－4111

運行ルート

津エアポート
ライン㈱

ホテルグリーンパーク津

ホテル津センターパレス

津なぎさまち
空港アクセス港

運行時刻①　【高速船9便運航時】（火・水・木）

津エアポートライン㈱

▶ 赤枠の時間帯にシャトルバスを運行

津なぎさまち発	
時刻	一般路線バスとの接続
6:00	
8:00	○
11:00	○
12:00	○
13:00	○
14:00	○
16:00	○
18:00	○
20:00	

津なぎさまち着	
時刻	一般路線バスとの接続
7:45	
10:45	○
12:45	○
13:45	○
14:45	
15:45	○
17:45	
19:45	
22:45	

運行時刻②【高速船11便運航時】(月・金・土・日・祝)

津エアポートライン㈱

▶ 赤枠の時間帯にシャトルバスを運行

津なぎさまち発	
時刻	一般路線バスとの接続
6:00	
8:00	○
10:00	
11:00	○
12:00	○
14:00	○
16:00	○
17:00	
18:00	○
19:00	
20:00	

津なぎさまち着	
時刻	一般路線バスとの接続
7:45	
10:45	○
11:45	○
12:45	○
13:45	○
15:45	○
17:45	
18:45	
19:45	
20:45	
22:45	

運行時刻③【高速船7便運航時（ドックダイヤ）】(1/29～2/16予定)

津エアポートライン㈱

▶ 赤枠の時間帯にシャトルバスを運行

津なぎさまち発	
時刻	一般路線バスとの接続
6:00	
8:00	○
11:00	○
14:00	○
16:00	○
18:00	○
20:00	

津なぎさまち着	
時刻	一般路線バスとの接続
7:45	
10:45	○
12:45	○
15:45	○
17:45	
19:45	
22:45	

シャトルバスの時刻表　12/27～2/24

津エアポートライン㈱

ホテル グリーンパーク津	ホテル津センターパレス	津なぎさまち空港アクセス港	ホテル津センターパレス	ホテル グリーンパーク津	
津駅発　津なぎさまち行			津なぎさまち発　津駅行		
5:30	5:38	5:45			
			7:55	8:02	8:10
9:30	9:38	9:45			※1
			14:55	15:02	15:10	※2
16:30	16:38	16:45			※1
			17:55	18:02	18:10
18:30	18:38	18:45	18:55	19:02	19:10	※1
19:30	19:38	19:45	19:55	20:02	20:10
			20:55	21:02	21:10	※1
			22:55	23:02	23:10

※1　12/27～1/6及び1/7～2/24までの月・金・土・日・祝日（1/29～2/16を除く）
※2　1/7～2/24までの火・水・木（1/29～2/16を除く）

問い合わせ

津エアポートライン㈱

〒514-0010
津市なぎさまち1－1
TEL　:059-213-4111
FAX　:059-246-5558
E-Mail:tsu-airport-line@ryobi-holdings.jp

津市都市計画部交通政策課

〒514-8611
津市西丸之内23番1号
TEL　:059-229-3180
FAX　:059-229-3336

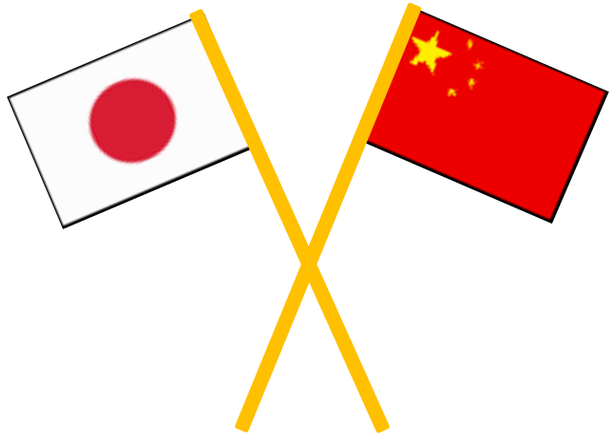
定例記者会見　令和６年１２月９日（月）１１時～	
場　所　庁議室	
事　務　担　当　課	
所　　属	職・氏　名
市民部市民交流課 （電話０５９－２２９－３１０２）	市民交流課長 山口　直美

津市・鎮江市友好都市交流４０周年
津市代表団が
鎮江市を訪問しました

このことについて、その内容は、別添資料のとおりです。

津市・鎮江市友好都市交流40周年

津市代表団が
鎮江市を訪問しました



令和6年12月9日

訪問日程

11月21日(木)

- 津市～鎮江市
- 鎮江市　徐曙海市長との会談
- 「日本国津市と中華人民共和国鎮江市との交流促進に関する覚書」署名式
- 鎮江市主催　40周年記念祝賀会

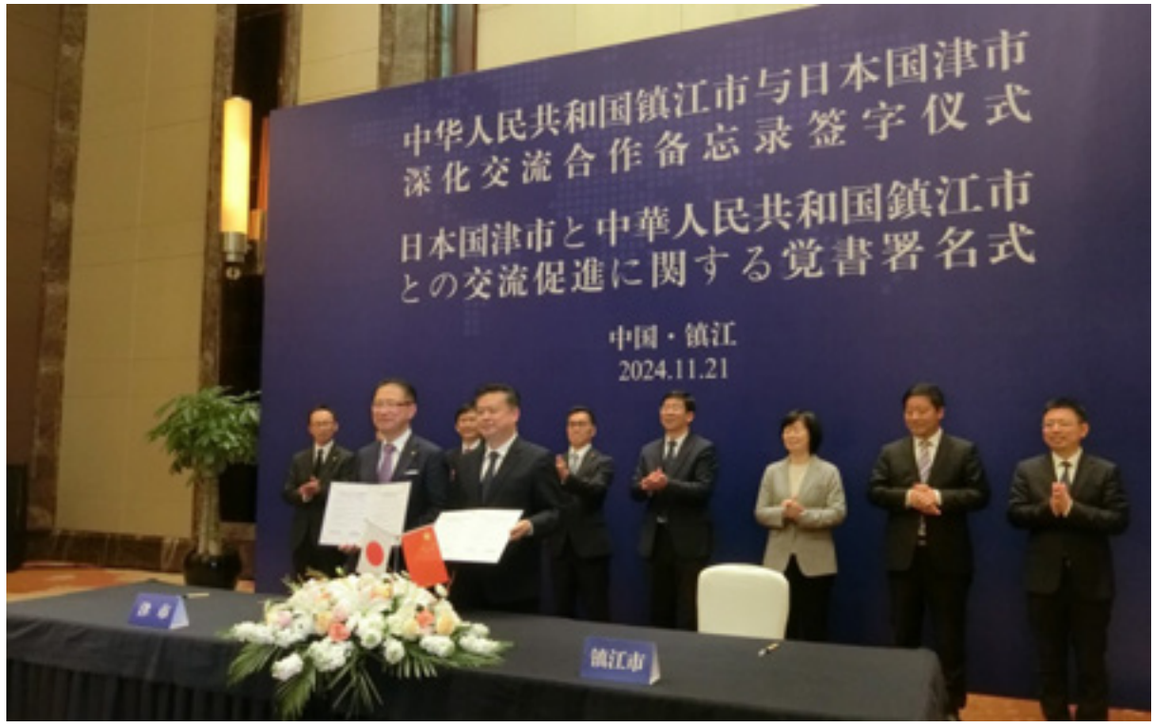
11月22日(金)

- 友誼樹(友情の樹)視察
- 高齢者向け総合施設(医療、介護、デイケア、住まい等)訪問
- 電気自動車(EV)関連企業、中国酢文化博物館視察
- 江蘇大学　李洪波党委書記訪問
- 鎮江市主催　歓迎夕食会

11月23日(土)

- 鎮江市～津市

交流促進に関する覚書の交換



日本国津市と中華人民共和国鎮江市
との交流促進に関する覚書

日本国津市と中華人民共和国鎮江市は、両市が市民交流を通じて相互理解を深め、また、両市における高齢者福祉の向上のため、以下の内容についての覚書に合意する。

両者は、両国の関係諸法規に定める範囲内において、次の項目の継続や実現に向けて努力するものとする。

1. 市民交流の促進

両市は、次の5年においても、教育、芸術、スポーツ、経済等様々な分野において、市民交流の基盤を強化する。

2. 高齢者福祉の増進

両市の高齢者福祉の増進を目指し、高齢者福祉施策に関する情報共有や意見交換を行う。

この覚書は、日本語及び中国語でそれぞれ2部を等しく正文として作成し、両者がそれぞれ1部を保存するものとする。

津市市長　前葉泰幸
鎮江市市長　徐曙海

2024年11月21日

中华人民共和国镇江市与日本国津市
深化交流合作备忘录

中华人民共和国镇江市与日本国津市，为加强两市市民交流与相互理解，改善两市养老事业，就以下内容达成一致，签署备忘录。

在遵守两国相关法律法规基础上，双方应致力于持续推动和实现以下事项：

一、促进市民交流。未来五年内，在教育、艺术、体育、经济等各领域继续加强两市民之间交流的基础。

二、推进养老事业的发展。双方应致力于推进养老事业的发展，共享老年人福利措施的相关信息并进行意见交换。

本备忘录用中文和日文写成，两种文本同等作准，双方各持一份。

镇江市市长　徐曙海
津市市长　前葉泰幸

2024年11月21日

徐曙海市長と会談を行い、両市の連携の下、両市の益々の発展と市民交流の基盤強化、高齢者福祉の増進を深め、友好関係を更に発展させることを約束しました。

この会談を受け、市民交流の促進及び高齢者福祉の増進のため、「日本国津市と中華人民共和国鎮江市との交流促進に関する覚書」を交換しました。

高齢者向け総合施設訪問

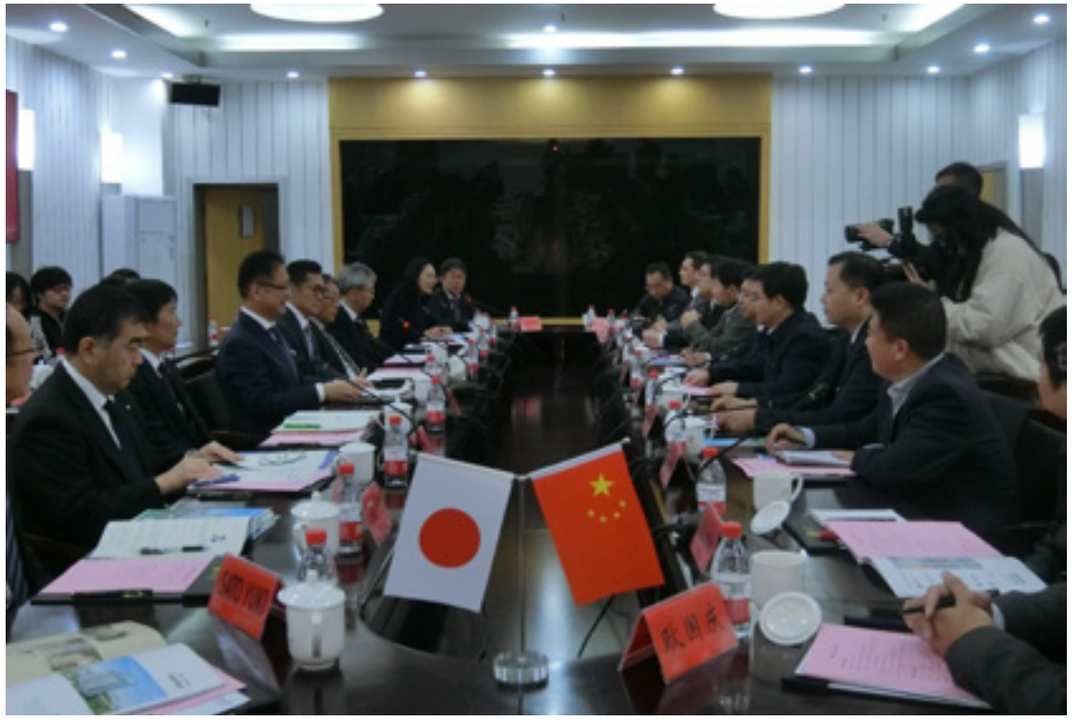
高齢者福祉施策の情報共有として訪れた信縁康米山頤養院は、総建築面積3.7万㎡の敷地に4棟の施設、830床のベッド数を有し、高齢者の生活全般のサービス（リハビリ、医療、介護、文化活動など）を提供する多機能、開放型の高齢者向け総合施設です。

高齢者福祉の増進に関する交流の一環として施設の視察後、馮琳施設長、鎮江市民政局陸敏副局長と意見交換を行いました。

企業等視察

　経済交流の一環として、鎮江市内に設立された電気自動車（EV）製造会社（北汽藍谷マグナ有限会社）と、酢をテーマにした中国初の博物館で、文化遺産保護、科学教育の普及、産業観光を統合した鎮江市最初のテーマパビリオンである中国酢文化博物館を視察しました。

江蘇大学訪問



江蘇大学李洪波党委書記を訪問し、三重大学との長い交流への敬意を表し、これからも江蘇大学から津市への訪問を歓迎するとともに、日中の交流の懸け橋となる人材の育成に共に尽力していくことを確認しました。

その後、令和5年に津市に来訪した江蘇大学友好訪日団の団員や三重大学への留学経験のある学生のみなさんから日本での経験についてのプレゼンテーションを聞き、意見交換を行いました。

第33回津市友好訪中市民団

今回の訪中市民団では、鎮江市のほか蘇州市、上海市を訪れ、中国の歴史や文化について見聞と理解を深めました。

鎮江市では、鎮江市庁舎にある国際友好都市展示ケースの記念品の入れ替えを行いました。

また、歓迎夕食会では今回の参加者のうち複数回鎮江市を訪れた5名に鎮江市から感謝状が贈呈されました。

問い合わせ

市民部 市民交流課
〒514-0027　津市西丸之内23-1
TEL:059-229-3102　FAX:059-227-8070

※右の建物:鎮江市庁舎